

私は約一年半前に、カンブリア宮殿の撮影時期のオーラルフィジシャン育成セミナーを受講しました。

この本を読んで、あの時に私に伝染した熊谷先生の熱意や、同じ志を持った受講生と日本の現状を変えようと決意したこと、

歯科医療の本質とは何かという思いが再びわき上がってきました。

患者は自分の口の中のことに関心がなく、歯科医師は治療のみに目を向けることが大きな問題になっています。

結果として、歯は失われ、歯科医療への信頼も失われる。

「このままではいけない」

歯科医療の本質とは何か。歯科医師としてどのような貢献ができるか。

歯科医院としてどうやって口腔の健康を維持する方法を伝えていくか。

セミナーで学んだことを実践し、目の前に現れた壁にぶつかるたびに乗り越えながら、スタッフと勉強を続けた1年でした。

その間にスウェーデンマルメ研修に参加したことで、スウェーデンの予防哲学に触れることができ、

実践していることの科学的根拠や疫学データを理解することで自信につながりました。

従来固定観念を断ち切り、我々が一步を踏み出すことで歯科医療は新たな価値を提供できると思います。

そして継続することでこれからの日本の歯科医療の未来は大きく変わっていくだろうと思います。

これからも様々な壁にぶつかると思いますが、患者の真の利益とは何かを考え、熊谷先生のように信念を持ち歩んでいきたいと思っています。

はなえみ歯科 平田泰久